



2024年元旦 能登半島地震

冬真っ盛りの2月に入りました。先月は例年では寒い日が続く月ではありますが、寒い日と少し暖かい日が交互に来るような月でありました。下旬は寒い週もあり、日本海側では災害級の積雪の地域も発生しました。2月も引き続き寒い日が続く月ではありますが、健康管理には十分気を付けて頂けたらと思います。

先月1月は元旦に大きな地震が発生いたしました。令和6年能登半島地震と名付けられたこの地震は、多くの方々被害に遭われてしまいました。この地震で亡くなられた方もおられ、この場を借りましてご冥福をお祈り申し上げたいと思います。また災害に遭われた方々に対しましても、早期の復興をお祈り申し上げたいと思います。被害が多く発生した能登半島は山々が多く、このような地形の影響で交通手段の確保や救援などが思うように進まなかったと感じました。輪島市内では火災も発生し、その後の津波も含め改めて巨大地震の恐怖を思い知らされました。まだまだ復興には長い道のりのように感じてしまいますが、1日でも早く日常の生活に戻られる事を切に願っております。

私たちの住んでいる遠州地域も、東海地震という地震が起きる可能性が年々高まっております。いつ起きてもおかしくないとの認識で、日頃からの心構えを持っていく事が良いように思いました。自然災害にはなかなか太刀打ち出来ないように思いますが、まずは出来るところからの地震対策を施すよう考えて行けたらと思います。

今月も寒さが続くと思いますが、体調には十分気を付けて頂き1ヶ月間よろしく申し上げます。

社長 太田 聡
編集担当：島

ハラスメントについて（第19回）【エイハラ】

今回のハラスメントは、エイハラ（エイジハラスメント）を取り上げます。

【エイハラ（エイジハラスメント）】

エイジハラスメントとは、年齢に基づく差別や嫌がらせのことを指します。職場や社会で年齢による不当な扱いを受けることで、被害者の仕事への意欲や自尊心に深刻な影響を及ぼす問題です。年齢による差別は法律で厳しく規制されていますが、未だに多くの方がこの問題に直面しています。

<よくある事例>

- ・相手の失敗を世代のせいにする
- ・若いからという理由で業務雑用等を押し付ける
- ・「おじさん」「おばさん」等、年齢によって呼称を変える
- ・年齢を理由にプライベートな話に踏み込む
(結婚、出産、介護等)



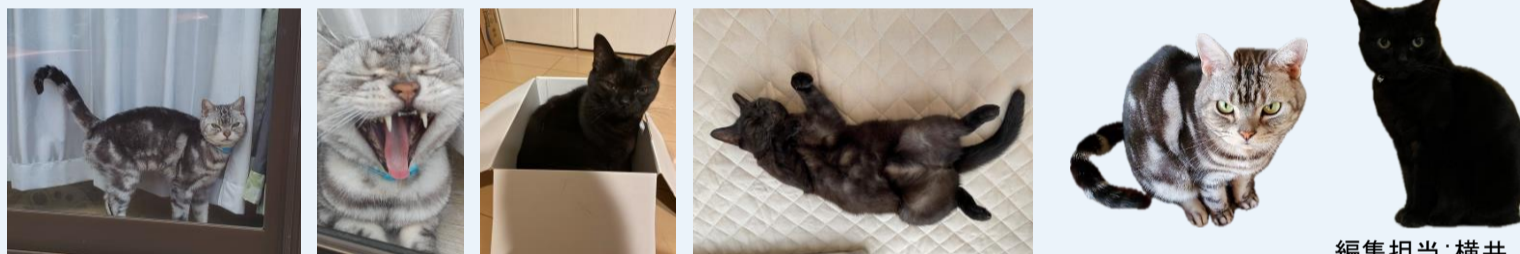
エイジハラスメントは認知度が低いため、悪気がなくても知らず知らずのうちにやっている人もいます。よくある事例を参考に、言動や行動がエイジハラスメントに該当しないか注意しましょう。



ネコの日

2月と言えば節分、恵方巻やバレンタインデーなどの行事があると思いますが、2月22日が猫の日だということをご存じでしょうか。私は猫や犬(猫ちゃんや犬ちゃん)などの動物を飼っていない(家庭動物(家族)と過ごしていない)ので存じませんでした。猫を飼っている(猫ちゃんと過ごしている)家庭の方は知っているかと思います。昔、猫や犬(猫ちゃんや犬ちゃん)などのご飯のことを「エサ」と言ったら怒られたことがあります。ペットは人間と同じ家族ということで人間と同様「ご飯」、家畜とは違うというお叱りを受けました。因みに「ペット」という表現も怒られるのでしょうか、調べてみました。所有物、モノみたいに感じるなど、やはり一定数「ペット」と表現されるのを不快と思う方もいるみたいです。また「猫」「犬」という一括りされるのも不快という意見もありました。因みに「飼う」という表現も家畜を連想させるためNGだそうです。誰でも分かりやすく、無難に使えるのは「家庭動物」と呼ぶことらしいです。これらを踏まえて冒頭の文章を赤字で訂正させていただきます。では本題に入ります。

「ネコの日」は日本では2月22日(にゃん、にゃんにゃん)に制定され、理由は不明ですが8月8日は「世界猫の日」に定められています。つまり「ネコの日」は年に2度訪れるという事になります、猫ちゃんがいる家庭は嬉しいですね。由来は1987年に「猫の日実行委員会」が一般社団法人ペットフード協会の協力のもと制定した記念日です。「猫の日実行委員会」は英文学者の柳瀬尚紀氏ら猫を愛する文化人や学者によって発足され、日付は、全国の愛猫家たちからの公募によって決定しました。意味は「猫と一緒に暮らせる幸せに感謝し、猫とともにこの喜びをかみしめる記念日を」という趣旨で制定され、「ネコの日」には猫ちゃんにちなんだ様々なイベントやキャンペーンが行われており、猫ちゃんと過ごしている、過ごしていない方も「ネコの日」をきっかけに猫ちゃんの魅力や大切さを再確認するいい機会になるでしょう。この記念日に年に1度の猫の健康診断を受けたり、保護猫募金をするために保護猫カフェに行ってみるのも良いかもしれません。



編集担当:横井

怒涛 ～徳川家康～

先月号のあらすじ

～家康は妻と息子である徳川信康を追放～

1579年 信康事件 築山殿事件

武田勝頼との戦が続いていく中、ある事件が起きます。家康の妻である築山殿と長男の信康の処刑を信長から命じられます。理由は(所説あり)、築山殿は武田家の内通者としての疑い、信康は妻である徳姫(信長の長女)に対して乱暴をしているためとされています。家康は織田家との同盟無くしてこの戦国時代を生き抜くのは不可能と判断し、信長の命に応じます。今も真実は明らかになっておらず、家康にとって大事な2人が亡くなったことは、後年まで悔やんだとされています。そこまでして同盟関係に傷を付けたくなかった事がうかがえ、この事件は徳川家の黒歴史とまで言われています。

1580～81年 高天神城の戦い

さきの戦いで大きく戦力が落ちた武田軍に対し、猛攻に出る徳川軍。長篠の戦い以前に落城された城を奪い返していきます。そのなかでも最も取り返したい城が高天神城だった。「高天神城を制する者は遠江を制する」

と言われ、一度は武田信玄から守った城でした。だが、勝頼によって落とされてしまい、悔しい思いをした家康は絶対に取り返すべく、この戦いは約半年以上に渡って続きます。主な流れは、長篠の戦いにより戦力を落とした武田軍に対して兵糧攻めを行った家康軍。兵糧と弾薬の搬入を遮断された武田軍がじわじわと追いやられた結果落城、徳川軍の勝利となり、高天神城奪還となりました。

1582年 甲州征伐 武田家の滅亡

続く敗戦により、より戦力を落とした武田家。この機を逃すまいと織田・徳川同盟軍が総戦力を上げ、武田領へ進軍します。圧倒的な軍力により武田軍の大敗、追い詰められた勝頼は正妻と息子と一緒に自害。これにより武田家は滅亡、長きに渡る武田家との戦いに終止符が打たれました。家康は信長から駿河一国を与えられ、三河・遠江・駿河の三国を領有することになりました。

同年 本能寺の変 織田信長 死亡

信長の死去の知らせを受けた家康、絶望。

(どうする家康)

編集担当:横井

編集担当より

スギ花粉は、2月上旬に九州・四国・中国・東海・関東甲信の一部で飛散開始となる見込みです。飛散がピークを迎える時期は、福岡・高松・東京は2月下旬から、広島・大阪・名古屋・金沢・仙台は3月上旬からとなるようです。

春一番が吹くような、風が強く急に暖くなる日があると花粉の飛散量が一気に増えて、ピークの時期が早まることも考えられます。ピークを迎える前から、万全な花粉対策を心がけましょう。

率直なご意見・ご感想をお待ちしております。
general@apollo-elec.co.jp

発行  アポロ電気株式会社

〒438-0004
静岡県磐田市勾坂中1600-11 磐田さぎさか工業団地
TEL: 0538-38-2228 FAX: 0538-38-2898
URL: <https://www.apollo-elec.co.jp>

編集担当: 管理室

発行日: 令和6年2月1日